

海洋深層水利用学会第 29 回全国大会 2025 久米島大会報告

研究発表企画委員会委員長 清水勝公

会員各位をはじめとしまして本文を講読頂いています皆様に対しまして、弊会が年度ごとに実施しています全国大会に関しまして概要を報告します。

第 29 回全国大会は令和 7 年 11 月 6 日(木)と 7 日(金)の両日、沖縄県久米島町具志川農村環境改善センターに置けまして実施され、一般研究発表 26 題、ポスター発表 1 題が発表されました。大会参加者状況に関しては応募者数 145 名（会員：90 名、非会員：48 名、学生：2 名、棄権者：5 名）で、現地参加者：115 名、Web 参加者：18 名、現地スタッフ：16 名でした。

研究発表は 1 名 20 分（質疑応答を含む）の持ち時間で行われ、その内容の詳細は学会 HP を参考頂きたいと考えますが、水産関連利用、農業関連利用、健康・医療関連利用、利活用を踏まえた構想展開等についての発表でした。特質すべき点は“取水施設の地震による被災と復興”や“深層水の大容量取水技術の開発”に関する発表が 4 題あり、今後の新たな課題を示すものと思われました。

また、11/7(金)午後 13:30 には見学会が行われ、深層水を揚水している沖縄県海洋深層水研究所での OTEC 実証施設や車エビの親飼育水槽見学をはじめに、(株)ロート・F・沖縄殿のスピルリナ培養施設、海洋深層水開発(株)殿の海ぶどう養殖場、(株)ポイントピュール殿の化粧品工場、(株)ジーオーファーム殿の牡蛎養殖施設 等々の深層水利用関連施設の見学が行われた。施設見学に対して快くご対応いただいた各施設関係者に感謝する次第です。

その他、関連イベントとして、11/7(金)午後には弊会・学習推進委員会による地元小学校向けの出前授業の実施や同日午後 17:00 からは“めんそーれ久米島へ/海洋深層水利活用事例共有会（利用促進委員会共催）”が地元海洋深層水協議会主催で 50 名以上の参加者を得て楽しく行われました。

加えて、11/8(土)の午前 9:00 からは“オプションツアー”と題して、久米島島内の島民推奨スポットの散策が久米島町様と協議会様の有志のご尽力でバスツアーが持たれました。20 年近く前から何度か訪問している私ですが、尋ねたことのない場所でしたので、非常に興味深く見学させていただきました。

最後に、本大会の開催に当りましては久米島町町長・桃原秀雄様をはじめに、町内各課の皆様及び協議会参加企業様の方々には大会会場のご提供に加えまして準備から運営・片付け迄の全てに渡りご尽力頂きました。ご協力とご支援をいただいた皆様に本紙面をお借りしましてお礼申し上げます。

次回全国大会の開催場所に関しましては本年度第 2 回理事会におきまして“富山県入善町・うるおいの館”と決まりました。多数のご参加をお願いします。

以上

《一般研究発表》



会場設営状況



海生生物展示



研究発表状況(1)



研究発表状況(2)

《海洋深層水フォーラム》



大道会長挨拶



研究成果発表



特別功勞賞授与式

《情報交換会》



大塚会長ご挨拶



桃原町長兼実行委員長ご挨拶



大道協議会会長乾杯音頭



次期開催地入善町・笹島町長ご挨拶



桃原町長の三味線で約 100 名以上の参加者が舞いあがる



《見学会》



沖縄県海洋深層水研究所



施設説明状況



海洋深層水取水管サンプル



OTEC 説明模型



クルマエビ親魚飼育水槽



《めんそーれ久米島へ 開催風景》



大道会長挨拶



地元保存会によるエイサー披露

《オプション・ツアー風景》



現場背後地 登武那覇公園



風の帰る森 交流施設